

## 広島メタル&マシナリー「中期ビジョン」の概要

広島メタル&マシナリーは、企業理念に則り 2021 年度を目途とする「中期ビジョン」を策定しました。

### <企業理念>

1. 人を中心に据えて考え、行動する企業体であろう。
2. 基盤となる素材、製品、技術そしてそれらに係わる周辺のソリューションを徹底して研究、開発、製造、提供することで、社会に欠かせない企業でありつづけよう。

### <中期ビジョン>

「特殊鋼、鋳鋼の持ち味・強みを生かした更なる体質強化と、機械事業および新規事業の拡大を通して、それぞれに事業が支えあう安定した収益体質の基盤を固めつつ、更なる発展へ向かう」

#### I. 企業理念にある「人を中心に据えて考える」をより具現化していく。

厳しさが続く採用環境のなか、安定的な人材面での経営基盤を構築し、生産性を向上させ、「働き方改革」に対応するための施策を実施する。

#### II. 「当社らしい」機能の発揮

もう一つの企業理念である「社会に欠かせない企業」となるために。

「当社らしさ」とはなにか。

- ・歴史を経て培ってきた技術力
- ・まず動く行動力
- ・ニッチマーケットの開拓力と顧客との信頼関係

これらを「時代の変化」に対応させ、一段の上の極みに登る。

製 造：品質、納期、コスト競争力強化

技 術：商品開発、一貫製造力の強化

営 業：売上増加（数量×価格）

購 買：コストの見える化、購買方法の改善

設 備：老朽化対策から戦略投資へ

管 理：徹底した管理簡素化

### III. 中期的な目標

#### ● 全社の収益目標

	三年後目途	(参考) 2018年
営業利益	6億円	5億円
EBITDA	12億円	8億円
減価償却費・のれん償却費	6億円	3億円

設備投資により、減価償却費増加。EBITDAは2018年対比で4億増の12億円を目指す。設備投資は、省エネ・コストダウン・生産性向上に加え、働く人たちの環境改善の投資を積極的に行っていく。

#### ● カンパニー別目標

##### <スチールカンパニー>

コスト削減については電気炉工場である以上、夜間率を向上させて年間10億円強の電気代の削減を図る。

次に、有効求人倍率の上昇で人手不足に拍車がかかり、外国人労働者の力を借りながら操業を維持しているが、そのような状況でも全員が、明るく楽しみながら仕事ができるような環境創りをする。

設備投資は安定した生産を維持するため、計画的な老朽更新を実施する。

- ① 要員の確保
- ② 省人化
- ③ 夜間率の向上
- ④ 戦略的投資の実施
- ⑤ 働きやすい、魅力のある会社を目指す

##### <ケムテックカンパニー>

現在の高い商品技術力を維持・向上するとともに、次世代用途・新分野への市場開拓を図っていく。また事業拡大に伴う各部門の業務処理能力の向上と人材確保を主テーマとして、事業運営を図る。

- ① 営業活動方針  
新製品・新業界進出で、受注のベース能力向上
- ② 製造活動方針  
新作生産増対応。部品調達能力強化及び生産能力強化。
- ③ 開発活動方針
  - ・ 顧客試験充実による営業サポート。
  - ・ 新装置開発テーマの発掘による技術競争力の向上
  - ・ 貸出・サンプル作成用試験機を充実、新規事業探索と装置販売促進効果

<メタルテックカンパニー>

多様な人材、多様な働き方を受け入れること、製造プロセスの合理化に本気で挑戦することで、再生産を可能とする収益力をもった事業部門になる。

**【造機事業方針】**

一貫製作方針のもと、加工・製缶・塗装・組立の技能および加工機械の導入を含んだ供給体制を整備することで、事業拡大を図る。

◎重点取組事項

- ① 新五面加工機の戦力化
- ② 一貫製作供給体制の整備
- ③ 組立工事への参入
- ④ 新型 QRH の販売促進
- ⑤ 国内外のパートナーの発掘・提携
- ⑥ 操業管理・工程管理の強化による生産性改善

**【鑄鋼事業方針】**

品質と納期の安定による顧客からの信頼を高める。

製造プロセスの合理化投資を進めるとともに、木型工場保有の強みなどを活かし、事業収益構造の再建を図る。

◎重点取組事項

- ① 鑄鋼製造プロセスの合理化
- ② 木型部門の強化

以上